

様式 1

就職指導の改善に関する研究計画書

学校名	北海道	静内農業	高等学校			
就職支援教員	氏名	興村航平		週当たり担当授業時間数	6	
1 就職に関わる学校の状況						
	卒業者数	就職希望者数	就職内定者数	就職未内定者数	内定率	進路未決定者数
令和5年度（3月末）	40	26	26	0	100.0%	0
令和4年度（3月末）	40	23	23	0	100.0%	0
令和3年度（3月末）	45	29	29	0	100.0%	0
2 研究課題への取組概要 ※(1)～(4)のうち、重点事項には○印を記入すること。（複数可）						
(1) 就職後3年以内に離職する早期離職の改善のための就職後の生徒に対する支援						
・関係機関と連携した支援体制を確立するための連携会議の創設を検討する。 ・3年以内の卒業生を支援するための研修を商工会共催で開催するよう検討する。						
(2) 就職未内定又は進路希望を設定できないまま卒業した生徒に対する支援						
・ハローワーク等の関係機関と連携した定期的な情報共有を行う。 ・支援内容を把握するためのキャリアカウンセリングの実施。						
(3) 新規高等学校卒業者に係る就職慣行（いわゆる「一人一社制」）に関する状況の把握						
・事業所訪問を通じた情報収集を軸に状況の把握に努める。 ・就職試験が落ち着いた時期に生徒・保護者への調査を実施する。						
(4) その他、就職指導を改善・充実するための教育活動に関する取組				○		
・「離職者調査」を継続させ、本校のキャリア教育の主軸である「産業社会と人間」へ活かす。 ・キャリア・パスポートを効果的に活用するための研究及び整備						
(5) 上記(1)(2)(3)(4)に係る成果の普及						
・管内進路部会を通じた研究成果の普及 ・管内中学校への研究会を通じた情報提供						
3 年間計画						
月	内容	主な取組	月	内容	主な取組	
4月	職員会議で教職員へ研究課題の周知	5	10月	管内高校への就職慣行に関する状況調査	3	
	キャリア・パスポートの目的や記録の仕方を周知	4		就職状況に関する追跡調査の実施	1	
5月	卒業生が就職した事業所への訪問①	1	11月	ハローワーク等と主催した企業説明会への参加	4	
	キャリアパスポートを効果的に活用するための研究	4		就職状況に関する追跡調査の集計	1	
	関係機関との連携に係る研修	1				
6月	ハローワークとの連携・情報共有	1・2	12月	3年以内の卒業生を支援するための研修開催	1	
	キャリアパスポートを効果的に活用するための整備	4		本校職員への就職慣行に関する状況調査	3	
				管内進路部会での研究成果の普及	5	
7月	クラウドでの求人票の整理・研究①	4	1月	未内定生徒について関係機関との情報共有①	2	
	卒業生が就職した事業所への訪問②	1		生徒及び保護者への就職慣行に関する状況調査	3	
8月	夏季休業中の進路対策講習の開催	4	2月	未内定生徒について関係機関との情報共有②	2	
	卒業生が就職した事業所への訪問③	1		校内合同企業説明会の開催	4	
				次年度の『産業社会と人間』計画①	4	
9月	地域人材を活用した面接練習会の開催	4	3月	ハローワークと未内定者の情報共有③	2	
	クラウドでの求人票の整理・研究②	4		次年度の『産業社会と人間』計画②	4	
※月ごとの主な内容を黄色セルに記載してください。また、主な取組について、上記2(1)～(5)に当てはまる番号を付してください。						